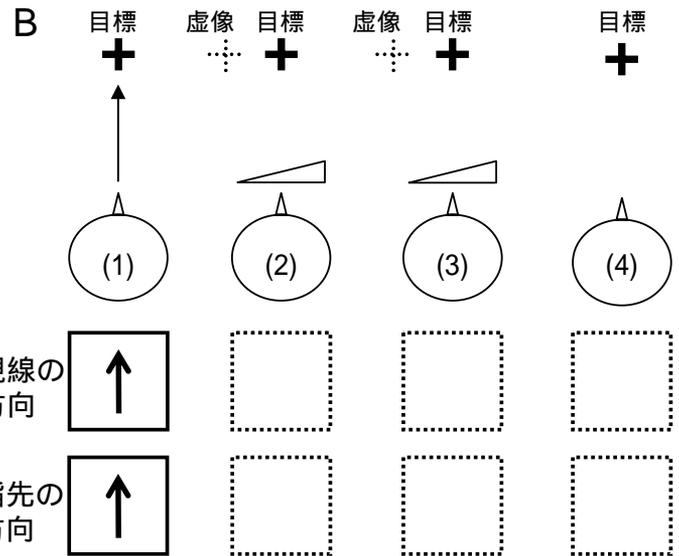
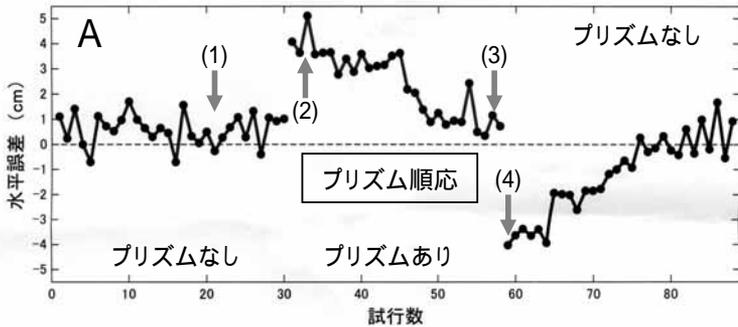


到達運動におけるプリズム順応

番号	氏名
----	----

以下の図は、視野を左方向にずらすプリズムを用いたプリズム順応で測定された到達運動の水平誤差のデータ(A)とその模式図(B)である(図A矢印(1)~(4)は図Bの(1)~(4)にそれぞれ対応する)。次の問に答えなさい。



問1. 図Aの水平誤差のプラスの値は、(ア)右方向、(イ)左方向のいずれを示しているか。ア、イのうちから一つ選び解答欄に記入しなさい。

解答欄

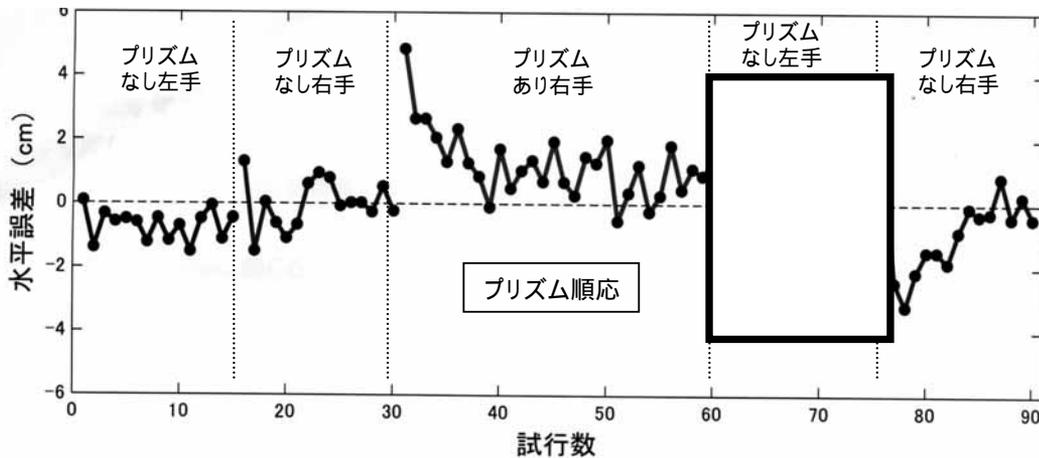
視線の方向

指先の方向

問2. 図B(2)~(4)に対応する視線と指先の方向を(1)にならって破線四角内にすべて矢印で記入しなさい。また図A矢印(4)のように、プリズムをはずした後に生じる誤差を何というか。解答欄に記入しなさい。

解答欄

以下の図は、実習中の実験2(両手間転移)で測定された到達運動の水平誤差のデータである。次の問に答えなさい。



問1. 右手の到達運動がプリズムに順応した後、プリズムをはずして反対側の左手で到達運動を行ったとき、一般にどのようなデータが得られるか。図中の空白部分(太枠)に予想される結果を線で記入しなさい。

問2. 予想される結果から、左手と右手の到達運動の技能はどのように脳内に蓄えられると言えるだろうか。述べなさい。